

日時 平成 30 年 10 月 23 日 (火) 15:40~17:00

場所 校長室

1. 開会
2. 校長挨拶
3. 学校の現状と学校再編整備計画について (校長)
4. 事務局報告
 - ①「学校経営計画及び学校評価」と「佐野工科高校地域連携」について (教頭)
 - ②各分掌の年間計画について進捗状況
教務部・生活指導部・進路指導部・総務部・支援教育コーディネーター
5. 全体協議 (目標達成、課題解決に向けた取組について)

○工科高校が再編整備計画の対象になり、今後 5 年間の廃校はないということではあるが、見通しとして具体的に定員はどのようになるのか。

Ans. 募集人数は現状の 280 人から 2020 年には 210 人になる。

○倍率が上がることも予想されるが、それでどのような影響が考えられるか。

Ans. ものづくりに興味を持ち、目的意識のある生徒を集めたい。今回の再編整備が追い風になってくれることを願うが、この 2~3 年で生徒数の急減期にもなっており、分母も減っている様子である。

○確かに中学校では 3 年生より 2 年生の人数が減っているので、希望があるのに入れないというほどのことではないと思う。

○魅力の発信として産業創造系のコンテスト応募数の増加が挙げられているが、応募生徒の人数が増えたのか、応募したコンテスト自体の数が増えたのか。また実際にはどちらが良いのか。

Ans. 現状は教員からの働きかけで 2 年生が全員応募のものがあるので、コンテスト件数より応募生徒の人数で応募数が多くなっている。理想は生徒からの希望が出て応募する形でコンテスト件数が増えることである。

○学校の魅力を大会参加の成績やコンテスト成果でアピールしているのはわかるが、次のステップとして進路先情報がよく見えるようにすることが必要ではないか。インターンシップ、企業とのつながり、求人数などもっとアピールするとよいのではないか。

○オープンスクールは好評だったようだ。PTA 会長と生徒会会長がスピーチをした。生徒会長の保護者、生徒に語りかける話し方が上手で好評だった。PTA としても学校に協力できることがあれば行う。

○オープンスクールに関して工夫、努力の成果が出ていることがわかった。どれくらい的人数が参加したか。

Ans. 参加人数の内訳は生徒が 147 名、保護者が 64 名、教員が 2 名。200 名以上になったので 2 つの会場に分けて行った。保護者と生徒がスピーチすることは、中学生及びその保護者にとって効果的であるとともに、本校の生徒自身の成長にもつながり、良かった。

○1 学級 3 5 人編成になるが、教員定数は変わらないのか。

Ans. 最終 1 6~1 7 クラス規模の定員になる見込み。加配などでまだ不確定な部分があるが、ある程度は教育庁と相談しながら要望していく。

○70 歳までの雇用を言われる時代だが、再任用の先生は何歳までか。

Ans. 現状では、定年 60 歳、再任用は 65 歳まで。それ以降では教員免許状更新が 65 歳で必要になる問題がある。

○ (学校経営推進費で) ICT 教育のための申請が通らなかったということであるが、今後はどうするのか。学校の現状はどのようになっているか。

○中学校でも教壇のプロジェクターやタブレット、無線 LAN 対応機器などの設置は市町村によって異なる。泉佐野はあまり設置されていない状況。

○進学説明会に参加すると ICT 機器が設置されているという学校があるので、工科高校にも是非あってほしいものだ。

Ans. 今年度の学校経営推進費の申請では1次審査は通ったが、2次審査で通らなかった。10分ぐらいのプレゼンを行い、これで通るのは10校ぐらいである。教室のプロジェクターについては、次年度は自校努力で1学年分を設置し、効果のほどを検証するなど実績を作ってから改めて経営推進費の申請することを検討している。

6. まとめ

足りないところは充足して努力を継続。

7. 校長挨拶

8. 閉会

その他、連絡事項 次回予定 1月～2月あたりで調整して決定する。